

授業科目 学校栄養指導論Ⅰ

【担当教員名】 村山篤子	対象学年	3	対象学科	栄養
	開講時期	後	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

- ① 食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。
- ② 心身の成長・健康の保持増進に望ましい栄養や食事のとりかた、食物の品質・安全性の判断ができる自己管理能力を身につける。
- ③ 食物を大事にし、食物の生産などにかかわる人々への感謝する心を育む。
- ④ 食生活のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身につける。
- ⑤ 各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史などを理解し、尊重する心をもつ。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

- ① 食に関する指導を充実するために、学校給食を生きた教材として活用する。さらに各教科、特別活動、道徳、総合的な学習の時間等、学校教育活動全体を通して行われることが重要であることを認識する。
- ② 食に関する指導の基本的な考え方、指導方針などを明確にし、教職員の共通理解を図ることを心がける。
- ③ 食に関する指導の内容にそった指導案の作成法を理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1-2	学習指導要領に書かれている教科の目標について		講義
3-4	各教科、道徳、特別活動、総合的な学習での食に関する位置づけを明確にする。		同
5-6	各教科それぞれが持つ特別な性質を判りやすく紹介する。		同
7-8	指導要領に記述してある内容から食に関連した内容を選び提示する。		同
9-11	食に関する指導の進め方について		同
12-15	食に関する指導の指導例の提示・解説		同
	食に関する指導の中でいくつかの実践例を提示		小グループ演習
	グループ毎に下記の項目にそって指導案作成を試みる。		
	単元名、単元の目標、食育の視点、指導計画、展開および他の教科との関連についても記述する。		

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	特に指定しない			
参考図書	小・中学校教科書（主として生活・家庭・保健体育）および学習指導要領			
その他の資料	適宜プリント配布			
【評価方法】 レポート、授業態度（積極性の有無）		【履修上の留意点】 教員を目指してまじめに課題と取り組む		